

令和2年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統) 概要

福井県生活バス路線確保対策協議会

【公共交通の現状】

嶺北地域の状況

- ・嶺北地域においては、南北を走るJR北陸本線を基軸として、県都福井市と各市町がJR越美北線、福井鉄道福武線、えちぜん鉄道勝山永平寺線・三国芦原線で結ばれており、これらを補完する形で京福バスや福鉄バス等が路線バス等を、各市町がコミュニティバス等を運行している。

○JR北陸本線

福井県内19駅(新正田駅～牛ノ谷駅)

○福井鉄道福武線

25駅(越前武生駅～田原町駅)

○民営バス

京福バス45路線、福井鉄道10路線

○JR越美北線

22駅(越前花堂駅～九頭竜湖駅)

○えちぜん鉄道勝山永平寺線、三国芦原線

44駅(福井駅～勝山駅、三国港駅)

○コミュニティバス等

嶺北地域全11市町が運行

嶺南地域の状況

- ・嶺南地域においては、東西を走るJR小浜線を基幹として、福鉄バス等が路線バスを、各市町がコミュニティバス等を運行している。複数市町をまたぐバス路線は、民営バスの5路線のみである。

○JR小浜線

福井県内22駅(敦賀駅～青郷駅)

○民営バス

福井鉄道	4路線
大和交通	1路線
京都交通	1路線
西日本JRバス	1路線

○コミュニティバス等

おおい町を除く5市町が運行

地域鉄道の状況

○えちぜん鉄道

福井駅を起点に福井市北東部および永平寺町を経由する「勝山永平寺線」と、福井市北西部および坂井市を経由する「三国芦原線」が走行している。

○福井鉄道

JR北陸本線と並行する形で、福井市(田原町駅)から越前市(越前武生駅)までを運行している。

○平成28年3月に、福井鉄道福武線とえちぜん鉄道三国芦原線の相互乗り入れを実施し、利用者数が増加傾向にある。

えちぜん鉄道

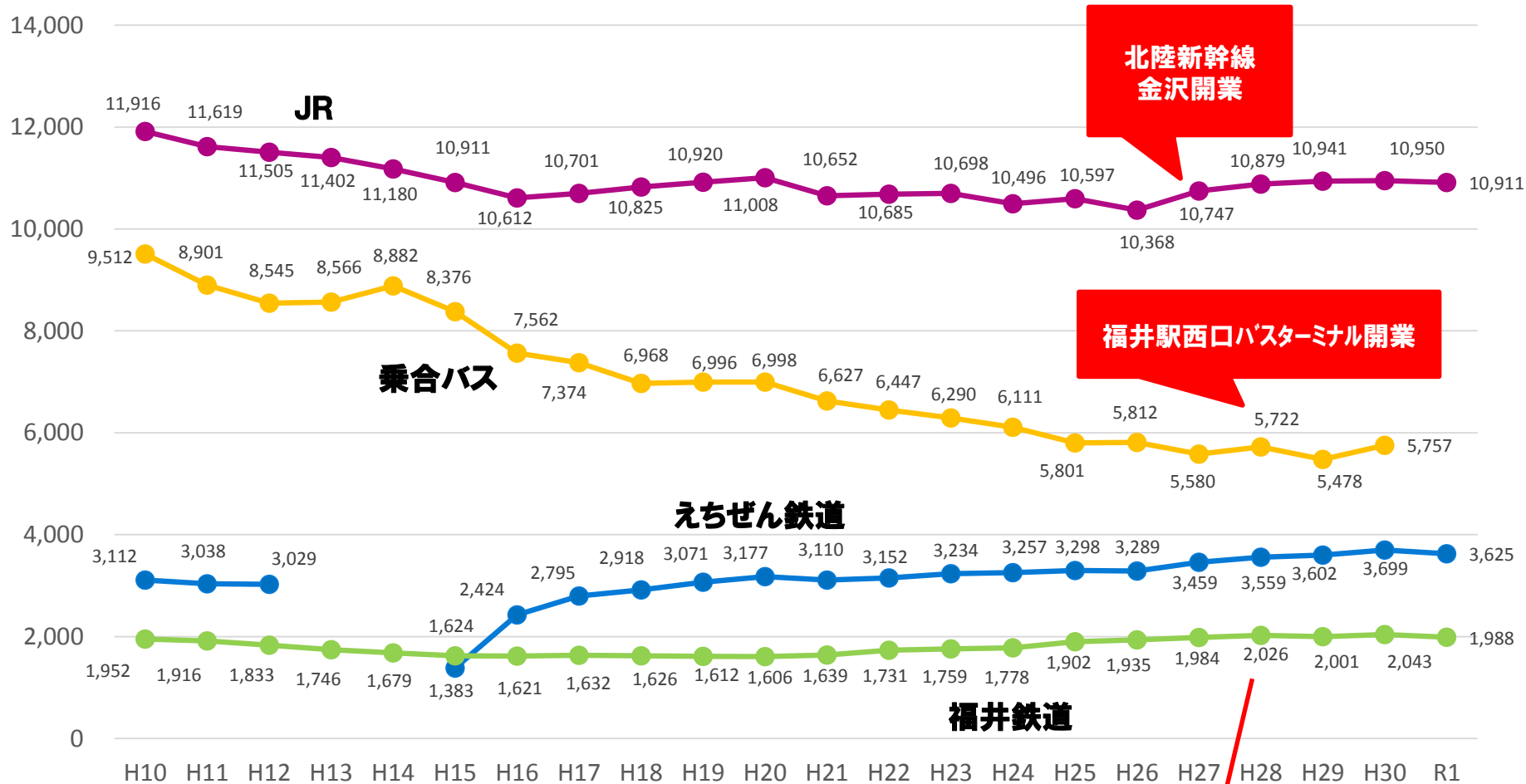
- 営業路線延長 53.0km
(三国芦原線) 25.2km〔鉄道区間〕
(勝山永平寺線) 27.8km〔鉄道区間〕
- 使用車両 大型車両 21編成 低床車両 2編成
- ・2度(H12年12月、H13年6月)の正面衝突事故により廃線
- ・2年5か月のバス代行を経て、H14年9月に えちぜん鉄道が発足
- ・H15年10月の全線開通後は、地域住民・沿線自治体・事業者が一体となって、利用者増を実現
(利用者数 H16年度 2,424千人 → R1年度 3,625千人)
- ・H27年9月には、えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画を策定

福井鉄道

- 営業路線延長(福武線) 21.5km
鉄道区間 18.1km 軌道区間 3.4km
- 使用車両 大型車両 3編成 低床車両 15編成
- ・H18年度に経営赤字により自主的経営再建を断念し、県・沿線自治体に支援を要請
- ・H21年2月に鉄道事業再構築実施計画を策定し、地域住民、自治体、事業者が一体となって再建を行っている。
(利用者数 H16年度 1,621千人 → R1年度 1,988千人)
- ・H30年3月には、福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画を策定

福井県内のバス・鉄道の利用状況

千人



えち鉄・福鉄相互乗り入れ
福鉄駅前延伸

【令和２年度地域公共交通確保維持改善事業について】

確保維持事業に係る目的・必要性

- ・一世帯当たりの自動車保有台数が全国トップクラスであるなど、日常生活における自家用車の依存が高い。
- ・人口減少や少子化の影響等もあり、路線バスの輸送人員は減少傾向にある。
- ・そのため、多くのバス路線は採算面で厳しい状況に置かれており、事業者単独でバス路線を維持することは困難な状況にある。
- ・しかし、生活バス路線は、高校生の通学や高齢者の通院など住民の生活交通手段を確保するうえで不可欠であり、特に地域間幹線系統の維持はこれらの利用において重要な役割を果たしていることから、確保維持に向けて重点的に取り組む必要がある。
- ・また、県民の過度なクルマ利用意識を見直し、公共交通機関や自転車の利用を呼びかけるカー・セーブ運動を今後進めていく上でも、バス路線の維持が不可欠である。

確保維持事業に係る目標・効果・評価

【系統】

- ・23系統（福井鉄道7系統、京福バス13系統、大和交通1系統、京都交通1系統、西日本JRバス1系統）

【目標】

- ・各路線の輸送量について、平成30年度実績（計画策定時の前年度）同程度の利用者を確保。

【効果】

- ・通勤通学や買い物、通院等を目的とした交通弱者の移動に必要不可欠な交通手段が確保される。

【評価】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、ほとんどの路線で定量的な目標を達成できなかった。

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ・定量的目標以上の輸送量および経常収支の改善を達成した | 1系統→A評価 |
| ・定量的目標以上の輸送量または経常収支の改善を達成した | 3系統→B評価 |
| ・定量的目標以下の輸送量および経常収支の改善を達成できなかった | 19系統→C評価 |

前回の事業評価結果

- ・利用促進、環境、県民の健康の面から「カー・セーブ運動」を展開。県民の意識改革にも取り組まれていることを評価。
- ・北陸新幹線を見据えた公共交通の検討により、特に観光客を対象とした周辺地域との連携によるアクセス等を考えていくことや、生活路線として役割を果たしうる路線・ダイヤとなっているかを精査することを期待。

前回の事業評価結果の反映状況

県民の意識改革

- ・小学生と中高生向けに、公共交通での通学やお出かけをPRするリーフレットを作成し、県内全学校に配布して、学生の公共交通の利用促進を図った。

小学生向けリーフレット

バス・電車 お出かけしよう!

いつもお出掛けしているバスや電車の様子や、みんなが乗ることが出来る乗車券や利用方法について、学校のバスや電車の乗り方を学んでみてみましょう!

路線バスに乗ろう

こんな風に乗るんだね!

- 1. バスの行き先を確認しよう**
バス停でバスが来るのを待ちましょう。バスが来たら、バスの正面や横側を見て行き先を確認します。運が良ければ、時刻表と一致していることが確認できます。
- 2. 後ろのドアから乗ろう**
バスは後ろのドアから乗ります。乗るときに、ドアのそばにある乗降券を取り出します。
- 3. 次のバス停で降りるときはボタンを押そう**
次のバス停で降りるときは、降のボタンを押します。降のボタンを押さないと、次のバス停で降りることができません。
- 4. 運賃を確認しよう**
バス停に降りるまでに、バスの中の前にある乗降券を見て運賃を確認しましょう。
- 5. 運賃箱にお金と整理券を入れて、前からお降りよう**
バスが止まってから立ち上がりましょう。運転席のそばにある運賃箱に、乗降券とお金を投入します。おつりが出るようになります。
- 100円玉や10円玉がないときは**
運賃箱のそばにある両替機に、500円玉や1,000円札を入れて両替します。

中高生向けリーフレット

通学は電車・バス・自転車。

電車やバスは、通学に最適な移動手段です。電車やバスは、通学に最適な移動手段です。電車やバスは、通学に最適な移動手段です。

1 MERIT 電車・バス通学のメリットは?

毎日決まった時刻の電車・バスを利用することで、規則正しい生活習慣や、スケジュール管理の能力も身に付きやすくなります。社会人や大学生などに買われて、社会が広がる第一歩にも。また、駅やバス停から学校までの通学時間は、友達とのコミュニケーションの場となる大切な時間にもなります。

2 ECO 地球環境にも、家族にも優しい通学方法

家族に自家用車(クルマ)で送迎してもらった場合に比べて、二酸化炭素排出量は大幅に削減されます。電車やバスを使う人が増えれば、朝夕の通学・通勤時間帯の交通渋滞も緩和されますね。また、家族の送迎は快適で便利かもしれませんが、朝夕の忙しい時間帯の送迎は家族の負担になっているかも。離れた日は自転車通学、雨や雪の日、家族が忙しい日は回数券を使って電車・バス通学など、できる範囲から通学方法を見直してみてもいい?

3 MEANS 誰もが利用できる大切な移動手段を守る

電車やバスは、運転免許を持たない子どもからお年寄りまで、幅広い年代の方が利用できる移動手段として、通学、通勤、通院、買い物など、日常生活に欠かせない大切な手段です。クルマに乗り過ぎて電車・バスを使う人が減ると、路線が維持できなくなり、皆さんが高齢者になる頃には、無くなってしまってもかもしれません。多くの人に様々なメリットがある大切な移動手段を将来にわたって残していくため、積極的に電車・バスを利用していきましょう。

よく行く場所へ電車・バスで行ってみよう!!

普段使っていないだけで、意外と身近な場所にバス停があったり、学校以外にも、よくショッピングに行く場所へ電車・バスで行けたりするかもしれません。路線図や出発時刻表を調べて、まずは一度、電車・バスでお出掛けしてみませんか。電車・バス事業者の公式サイトや、各種路線検索サイト(Google、Yahoo!、Jorudan、NAVITIMEなど)で、現在地から目的地までの経路や所要時間が、簡単に検索できます。今まで知らなかった使いやすさや、身近な路線が見つかるかも!

・事業者の行っているバス車両の抗ウイルス・抗菌加工等の新型コロナウイルス感染防止対策について、県の広報誌やHP、YouTubeチャンネル、テレビCM、バスマスク型の前方幕等により広報を行い、県民に対してバスの安全性をPRすることで、利用回復を図っている。県としては、事業者の行う抗ウイルス・抗菌加工等に対し支援を行った。

YouTube、テレビCM、HPで動画配信



バスマスク型前方幕



県広報誌(抜粋)

公共交通機関を安心して利用いただくためのお願い

- 車内や駅構内におけるマスクの着用
- 混んでいる時間帯は避けて、会話は控えめに
- できる限り人との間隔を空ける



新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づき、徹底した感染予防に取り組んでいます。

○係員や乗務員のマスク着用



○車内や駅構内の換気や消毒



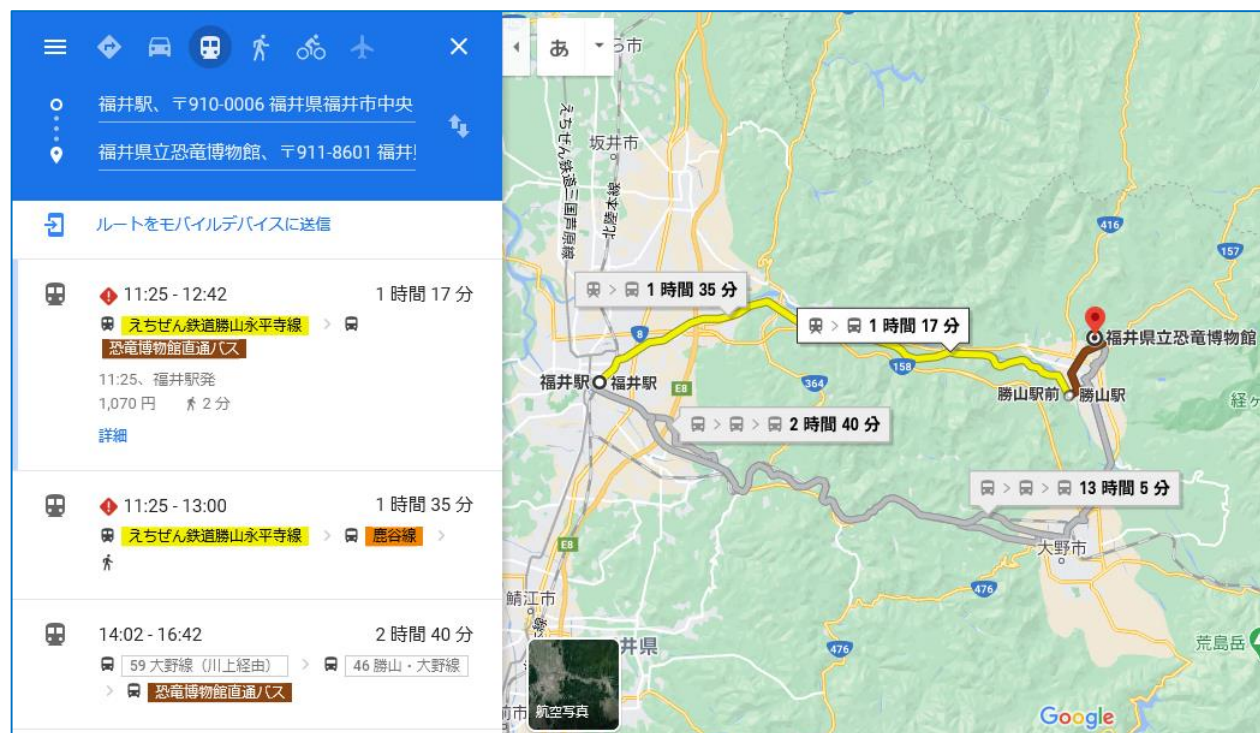
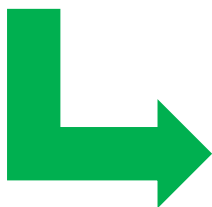
○車内の抗ウイルス・抗菌加工



北陸新幹線を見据えた公共交通の検討、観光客を対象とした取組みなど

- GoogleMapでの経路検索について、京福バス(令和2年2月)、福鉄バス(令和2年7月)、大和交通(令和2年9月)の路線バスが対応し、県内の路線バス事業者の経路検索システムへの対応が全て完了した。県としては、新モビリティサービス推進事業補助金により事業者のGoogleMapへの対応を支援した。

GoogleMapでの経路検索



その他

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が激減し経営に大きな影響が生じているバス事業者に対し、運行に係る経費を県・市町により支援する。
- 生産性向上の取組みに係るワーキングでは、事業者、市町、県、国で、路線ごとに協議を行った。

事業実施の適切性(運行実績)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、京福バスにおいて令和2年4月～7月にかけて一部減便して運行を行った。その他事業者については、計画通り適切に実施された。

事業の今後の改善点

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅を拠点とした、バスや鉄道、レンタサイクル等の様々なモビリティサービスが一体となった地域公共交通ネットワークについて検討する。
- ・生産性向上の取組みについては、事業者、市町、県、国での協議を継続し、利用者増加に向けた取組みを検討していく。(路線ごとの今後の改善点については、別添事業評価様式および地域間幹線系統分析シートを参照)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により落ち込んだ利用の回復を図るため、事業者の行う抗ウイルス・抗菌加工等の感染防止対策等を市町においても広報し、バスの安全性を積極的にPRしていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月20日

協議会名: 福井県生活バス路線確保対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A・B・C 評価	【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり実 施されなかった場合には、理由 等記載】	A・B・C 評価
福井鉄道	若狭線 敦賀駅～美浜駅 (車両減価償却費等補助対象路線)	H30.11敦賀市コミュニティ バスの再編以降、コミュニ ティバスとの運賃や停留所 の統合、競合時間帯の解 消、コミュニティバス時刻表 への当路線掲載等、自治体 と連携した取組みを行って いる。	A 計画通り事業は適切に実施され た。	新型コロナウイルス感染拡大によ る高齢者の出控えにより利用が減少 し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:18.5人 実績:12.7人 平均乗車密度:2.4人 運行回数:5.3回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:8.0%の悪化	R2年度の利用減は新型コロナウイル ス感染拡大による高齢者の出控えが 影響しているため、車両の抗ウイルス・ 抗菌加工や車内の換気・消毒などの感 染防止対策を市町においても積極的に 広報し、バスの安全性をPRすること で、利用の回復を図る。 また、市町による免許返納者への路 線バス等利用券や高校生への通学定 期補助、高齢者向け定期券「はんわり パス」や学生専用定期券「キャンパス」 の周知は引き続き実施し、利用者の取 りこぼしがないように取り組む。
福井鉄道	菅浜線 敦賀駅～白木 (車両減価償却費等補助対象路線)	H30.11敦賀市コミュニティ バスの再編以降、コミュニ ティバスとの運賃や停留所 の統合、競合時間帯の解 消、コミュニティバス時刻表 への当路線掲載等、自治体 と連携した取組みを行って いる。また、県道33号の開通に 合わせて路線改編(運行経 路の変更)を行い、運行時間 と走行距離を短縮した。	A 計画通り事業は適切に実施され た。	新型コロナウイルス感染拡大の影 響により発電所への通勤客や夏季 海水浴客の利用が減少し、目標は達 成できなかった。 輸送量 目標:15.1人 実績:11.2人 平均乗車密度:2.3人 運行回数:5.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:11.3%の悪化	発電所周辺の企業は一定の通勤利 用が見込めるため、周辺企業への利 用の働きかけにより利用者確保を図 る。また、夏季の美浜町の海水浴場へ の利用を促進するため、市町や観光協 会等のHP等により広報を行う。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内 の換気・消毒などの感染防止対策を市 町においても積極的に広報し、バスの 安全性をPRすることで、利用の回復を 図る。

福井鉄道	武生・越前海岸線 越前武生駅～かれい崎 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRし利用促進を行った。また、R2.7にはGoogleMapの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:19.7人 実績:17.1人 平均乗車密度:3.3人 運行回数:5.2回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:0.2%の改善	事業者による沿線学校での通学利用PRや越前町による通学支援補助制度、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や越前市・越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないように取り組む。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
福井鉄道	福浦線 田原町～かれい崎 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し路線バスでの通学をPRし利用促進したほか、沿線の丹生高校と相談しながら学生の利用しやすい時刻に改正した。また、R2.7にはGoogleMapの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:15.6人 実績:12.2人 平均乗車密度:3.6人 運行回数:3.3回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:8.0%の悪化	事業者による沿線学校での通学利用PRや越前町による通学支援補助制度、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないように取り組む。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
福井鉄道	南越線 シッピー～和紙の里 (車両減価償却費等補助対象路線)	高校生の利用者を確保するため、南越中学校の卒業生に時刻表配布等のPRを行い利用促進を行った。また、R2.7にはGoogleMapの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高齢者等の利用減少があったものの、R1.10に路線改編を行った結果、輸送量は目標を達成し、収支率はほぼ横ばいとなった。 輸送量 目標:17.9人 実績:21.3人 平均乗車密度:3.1人 運行回数:6.9回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:0.1%の悪化	事業者による南越中学校卒業生への時刻表配布や沿線の武生東高校での出張販売、市による学生利用促進のための広報等、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前市による高齢者等への運賃補助を継続し、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないように取り組む。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。 また、武生楽市の商業施設と連携した路線のPRなどの取り組みを行い、買い物利用の促進を図る。

福井鉄道	鯖浦線(かれい崎) JR北鯖江駅～かれい崎 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRし利用促進を行ったほか、ダイヤの見直しを行い運行の効率化を図った。また、R2.7にはGoogleMapの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:10.2人 実績:6.9人 平均乗車密度:2.3人 運行回数:3.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:6.4%の悪化	事業者による沿線学校での通学利用PRや越前町による通学支援補助制度、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないように取り組む。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
福井鉄道	鯖浦線(織田) JR北鯖江駅～織田 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRし利用促進を行ったほか、ダイヤの見直しを行い運行の効率化を図った。また、R2.7にはGoogleMapの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福浦線での高齢者の遠出(主に日赤病院(福井市)への通院)が減少し、当路線による近場施設(主に丹南病院(鯖江市)や織田病院(越前町)への通院)への利用が増加した。また、越前町の通学定期支援により、バスと電車を合わせた通学利用が増加した。 輸送量 目標:11.8人 実績:15.9人 平均乗車密度:2.7人 運行回数:5.9回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:5.5%の改善	事業者による沿線学校での通学利用PRや越前町による通学支援補助制度、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないように取り組む。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	越前海岸ブルーライン 福井駅～波の華 (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅バスロケを多言語表記に変更。またGoogleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。自治体と連携して、沿線の地域協議会において各地区での取り組み(停留所清掃やグループ単位でのお出かけ)の報告や利用促進に関する更なる啓発を呼び掛けた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:53.2人 実績:35.9人 平均乗車密度:2.7人 運行回数:13.3回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:13.7%の悪化	沿線4地区の協議会において、引き続き地域での利用促進の取組みを継続し、地域住民の利用を確保する。また、福井駅方面から福井医療大学への通学需要も見込めるため、学生への周知を行い利用促進を図りたい。 越前海岸に向かう路線であるため、越前海岸2日フリーきっぷや休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌やメルマガ等でPRするほか、休日フリーきっぷを車内でも販売していることなどを積極的にPRし利用増加につなげるほか、路線バスで行ける越前海岸の観光地のPR等を行い、観光利用の促進につなげたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	エンゼルランド線 福井駅～エンゼルランド (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅バスロケを多言語表記に変更。またGoogleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標：25.7人 実績：9.2人 平均乗車密度：1.0人 運行回数：9.2回 収支率 目標：1.0%以上の改善 実績：24.3%の悪化	福井大学附属義務教育学校でのバスの乗り方教室の継続や、沿線高校へのMMパンフレットの配布等により、通学利用の促進を図っていく。 また、通勤客を取り込むため、企業定期制度のPRなど、事業者による沿線企業への利用働きかけを行う。 エンゼルランドへの利用を増やすため、エンゼルランドでの路線案内や、子育て情報誌等でのPR等を行いたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。その他、自治研修所に行く県や市町職員に利用を働きかける。
京福バス	丸岡線 福井駅～田原町～丸岡城 (車両減価償却費等補助対象路線)	坂井市の支援のもとR2年4月に丸岡BTを整備し、待合環境の向上に努めた。あわせて福井駅と丸岡BTバスロケを多言語表記に変更。またGoogleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標：15.1人 実績：17.1人 平均乗車密度：3.8人 運行回数：4.5回 収支率 目標：1.0%以上の改善 実績：10.2%の悪化	福井市内各高校等への通学利用が多いため、沿線学校での通学利用のPRなどを積極的に行い通学利用を促す。 また、通勤客を取り込むため、企業定期制度のPRなど、事業者による沿線企業への利用働きかけを行う。 休日フリーきっぷの市町における広報や、丸岡バスターミナルでのイベント等のPRにより利用促進を図りたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	県立病院丸岡線 福井駅～県立病院～丸岡城 (車両減価償却費等補助対象路線)	坂井市の支援のもとR2年4月に丸岡BTを整備し、待合環境の向上に努めた。あわせて福井駅、県立病院、エルパ、丸岡BTバスロケを多言語表記に変更。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標：43.6人 実績：39.6人 平均乗車密度：3.6人 運行回数：11.0回 収支率 目標：1.0%以上の改善 実績：10.1%の悪化	県立病院への通院利用が多いため、高齢者向け定期券「いきいき定期」などを事業者、沿線市においてPRし利用促進を図る。 また、エルパ利用者への運賃割引の広報や、エルパ内でのバス案内を行い、エルパ利用者のバス利用促進を図りたい。また、休日フリーきっぷを市のホームページ等で積極的に広報し、丸岡城への観光利用の促進も図りたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	大学病院線 福井駅～福井大学病院～県立大学 (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅バスロケを多言語表記に変更。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:19.6人 実績:19.6人 平均乗車密度:4.9人 運行回数:4.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:7.0%の悪化	引き続き沿線大学等で、新入生オリエンテーション等でのポケット時刻表や学生フリー定期チラシの配布等を行うほか、保護者にも学生フリー定期等のバス路線の案内を行い、学生利用の促進を図る。また、学生フリー定期チラシ等の多言語化を行い、留学生の利用にもつなげたい。 また、高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報を引き続き行い、高齢者の通院利用の確保を図る。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	大和田丸岡線 福井駅～県立病院～丸岡城 (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅、県立病院、エルパ、丸岡BTバスロケを多言語表記に変更。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:44.0人 実績:40.7人 平均乗車密度:3.7人 運行回数:11.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:9.3%の悪化	高齢者向け定期券「いきいき定期」などを事業者、沿線市においてPRし利用促進を図る。 また、エルパ利用者への運賃割引の広報や、エルパ内でのバス案内を行い、エルパ利用者のバス利用促進を図りたい。また、休日フリーきっぷを市のホームページ等で積極的に広報し、丸岡城への観光利用の促進も図りたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	大和田大学病院線 福井駅～福井大学病院 (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅、エルパバスロケを多言語表記に変更。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:68.0人 実績:64.5人 平均乗車密度:2.7人 運行回数:23.9回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:21.0%の悪化	引き続き沿線大学等で、新入生オリエンテーション等でのポケット時刻表や学生フリー定期チラシの配布等を行うほか、保護者にも学生フリー定期等のバス路線の案内を行い、学生利用の促進を図る。また、学生フリー定期チラシ等の多言語化を行い、留学生の利用にもつなげたい。 また、高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報を引き続き行い、高齢者の通院利用の確保を図る。 また、エルパ利用者への運賃割引の広報や、エルパ内でのバス案内を行い、エルパ利用者のバス利用促進を図りたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	勝山大野線 ヴィオ～福井勝山総合病院 (車両減価償却費等補助対象路線)	奥越明成高校へ出張販売を実施。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年4月～7月にかけて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:15.3人 実績:11.2人 平均乗車密度:1.6人 運行回数:7.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:9.6%の悪化 奥越明成高校等への通学利用が多い路線であるため、入学説明会でのバス利用案内や通学定期券の出張販売等を継続するほか、朝の便のダイヤを高校生の利用しやすい時間帯に設定するなど、通学利用の確保を図る。 また、高齢者の通院利用もあるため、高齢者向け定期券「いきいき定期」や高齢者向け支援策(運賃割引制度)の周知を継続するほか、高齢者向けの乗り方教室等を実施し、高齢者の利用を促進したい。 また、休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌やメルマガ等でPRするほか、車内でも販売していることなどを積極的にPRし、利用増加を図りたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	大野線 福井駅～ヴィオ (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅、済生会病院バスロケを多言語表記に変更。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。バスと越美北線時刻表を更新し、相互利用の推進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:36.3人 実績:33.0人 平均乗車密度:3.0人 運行回数:11.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:11.9%の悪化 JR越美北線と並行する路線であるため、越美北線の時刻表も併記したバス時刻表の作成等により、越美北線との相互利用を推進していく。 また、福井市内への通院利用もあるため、大野市での高齢者医療保険者説明会での「いきいき定期」周知等の継続や、高齢者向けの乗り方教室等を実施し、高齢者の利用を促進したい。 また、休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌やメルマガ等でPRするほか、車内でも販売していることなどを積極的にPRし、利用増加を図りたい。車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	清水グリーンライン 福井駅～プラント3 (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅、プラント3バスロケ を多言語表記に変更。 Googleマップでの経路検索 表示に対応し、利便性の向 上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の 影響により、R2年4月～7月にか けて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影 響により利用が減少し、目標は達成 できなかった。 輸送量 目標: 66.1人 実績: 49.9人 平均乗車密度: 2.2人 運行回数: 22.7回 収支率 目標: 1.0%以上の改善 実績: 15.3%の悪化	清水プラント3で接続するデマンドタクシー 「ほやほや号」と組み合わせた利用を、福井 市清水地区、越前町においてチラシ等によ り沿線住民へ周知を行うほか、住民向け説 明会や乗り方教室等を実施し、「ほやほや 号」と組み合わせた当路線の利用促進を図 る。また、プラント3での買い物客への利用 促進策を検討したい。 福井市内への通院利用も多い路線である ため、高齢者向け定期券「いきいき定期」等 の周知を継続し高齢者の利用促進を図りた い。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消 毒などの感染防止対策を市町においても広 報し、バスの安全性をPRすることで、利用 の回復を図る。
京福バス	西田中宿堂線 福井駅～天王 (車両減価償却費等補助対象路線)	福井駅、プラント3バスロケ を多言語表記に変更。 Googleマップでの経路検索 表示に対応し、利便性の向 上に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施され た。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影 響により利用が減少し、目標は達成 できなかった。 輸送量 目標: 15.0人 実績: 12.9人 平均乗車密度: 4.3人 運行回数: 3.0回 収支率 目標: 1.0%以上の改善 実績: 11.2%の悪化	高齢者向け定期券「いきいき定期」や自治 体による高齢者運賃補助制度、高校生への 通学支援補助制度等を継続し、利用促進を 図ることが重要である。 また、清水プラント3で接続するデマンドタ クシー「ほやほや号」と組み合わせた利用 を、福井市清水地区、越前町において沿線 住民への周知を行うほか、住民向け説明会 や乗り方教室等を実施し、「ほやほや号」と 組み合わせた当路線の利用促進を図る。ま た、プラント3での買い物客への利用促進策 を検討したい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消 毒などの感染防止対策を市町においても広 報し、バスの安全性をPRすることで、利用 の回復を図る。
京福バス	東尋坊線 芦原温泉駅～三国観光ホテル (車両減価償却費等補助対象路線)	Googleマップでの経路検索 表示に対応し、利便性の向 上に努めた。	B	新型コロナウイルス感染拡大の 影響により、R2年4月～7月にか けて減便を実施	C	新型コロナウイルス感染拡大の影 響により利用が減少し、目標は達成 できなかった。 輸送量 目標: 71.9人 実績: 45.0人 平均乗車密度: 3.6人 運行回数: 12.5回 収支率 目標: 1.0%以上の改善 実績: 24.6%の悪化	観光利用が多い路線であるため、東尋坊 2日フリーきっぷや休日フリーきっぷの周知 を沿線観光施設等と連携して行うほか、三 国温泉組合と連携したフリーきっぷの販売 増加、温泉旅館等への送迎需要の取り込 みを引き続き図り、利用促進を図る。 R2年度の利用減少は、新型冠状ウイル ス感染拡大による観光客の減少によるもの のため、コロナが収束すれば利用が回復し てくると考えられるが、車両の抗ウイルス・ 抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対 策を市においても広報し、バスの安全性をP Rすることで、利用の回復を図る。

京福バス	芦原丸岡永平寺線 永平寺門前～丸岡バスターミナル～芦原温泉駅 (車両減価償却費等補助対象路線)	丸岡BTバスロケを多言語表記に変更。Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:16.5人 実績:11.4人 平均乗車密度:3.1人 運行回数:3.7回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:24.9%の悪化	県内の有名観光地を多く通る路線であるため、永平寺・東尋坊2日フリーきっぷや休日フリーきっぷの周知を沿線観光施設等と連携して行い、利用促進を図る必要がある。 R2年度の利用減少は、新型コロナウイルス感染拡大による観光客の減少によるものため、コロナが収束すれば利用が回復してくると考えられるが、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
大和交通株式会社	名田庄線 名田庄流星館 ～ 小浜二中	バス移動における安全性を時刻表に盛り込んだチラシを名田庄地区全戸に配布し、掲示を依頼した。本時刻表には国・県・地元自治体から補助金を受け運行していることを明記しており、一層の利用促進を図った。また、Googleマップでの経路検索表示に対応し、利便性の向上に努めた。	A	台風19号による運休を除き、計画通り事業は適切に実施された。	C	少子化による通学利用の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:29.0人 実績:18.0人 平均乗車密度:3.6人 運行回数:5.0回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:10.1%の悪化	市町による通学定期券の半額補助を継続するほか、通学時間帯に合ったダイヤの検討を行い、通学利用を確保していく。 また、小浜市による免許返納者へのバス利用券等の交付やおおい町による高齢者の路線バス運賃無料化等を継続するとともに、制度の周知を強化し高齢者の利用の取りこぼしがないように努めるほか、敬老会等で高齢者向けのバスの乗り方教室等を実施し、高齢者の利用促進を図る。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京都交通	高浜線 東舞鶴駅前～高浜駅前	若狭たかはまひなまつりなど沿線自治体のイベントと連携し、高浜線へのお試し乗車を可能とする企画を実施し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:15.1人 実績:12.8人 平均乗車密度:2.8人 運行回数:4.6回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:9.7%の悪化	高浜町内イベントと連携したお試し乗車企画等を引き続き実施するほか、沿線自治体と連携し学校や老人会等でバスの乗り方教室等を行い、利用促進を図る。 また、高浜線の利用人数アップを図るため、赤ふんバスとの共通利用券や、高浜線の一部バス停(日置)を拠点とした赤ふんバスとの乗り換えなどを検討する。 車内の換気・消毒等の感染防止対策を事業者・町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

西日本JRバス	若江線 近江今津～小浜 (車両減価償却費等補助対象路線)	青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、新たな需要の掘り起こしを図るなど当該路線の利用促進・活性化・収支改善に努めた。また貨客混載の実現可能性に関する検討を継続的に実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 輸送量 目標:63.7人 実績:38.7人 平均乗車密度:3.0人 運行回数:12.9回 収支率 目標:1.0%以上の改善 実績:15.9%の悪化 事業者による青春18きっぷ利用者への割引施策の継続等、JR利用者の利用促進を図る。 また、小浜市内への高齢者の通院利用等もあるため、高齢者向けのバスの乗り方教室等を実施し利用促進を図りたい。 また、観光利用の回復につなげるため、「鯖街道の日」など地域のイベントと連携した路線のPRを行うほか、京都・大坂方面から若狭に来る際、湖西線と乗り継ぐことで最も安価で速く来れる路線であることをPRし利用促進を図りたい。 その他、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性を積極的にPRすることで、利用の回復を図る。
---------	--	---	---	------------------	---	---

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月20日

協議会名:	福井県生活バス路線確保対策協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	本県は、一世帯当たりの自動車保有台数や、交通手段に占める車の割合が全国トップクラスで、県民の日常生活における車の依存度は高い。また、少子化の影響等もあり、路線バスの輸送人員は減少傾向にある。そのため、多くのバス路線は採算面で厳しい状況に置かれており、事業者単独でバス路線を維持することは困難な状況にある。 しかし、生活バス路線は地域住民の足として重要であり、特に地域間幹線系統はクルマを使うことができない高校生の通学や、運転免許を持っていない高齢者の通院のための移動手段として必要不可欠である。 また、本県では県民の過度なクルマ利用意識を見直し、公共交通機関や自転車の利用を呼びかけるカー・セーブ運動を平成20年度から実施しており、これらの取り組みを今後進めていく上でも、バス路線の維持が欠かせない。 このため、地域公共交通確保維持改善事業により、通勤、通学、通院のための移動手段として利用されている生活バス路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。